

議員提出議案第6号

UR賃貸住宅ストックの活用に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成31年3月14日

墨田区議会議長

瀧澤良仁様

提出者	墨田区議会議員	木内清
	同	樋口敏郎
	同	中沢えみり
	同	加藤拓
	同	おおこし勝広
	同	加納進
	同	高柳東彦
	同	あべきみこ

## UR賃貸住宅ストックの活用に関する意見書

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の賃貸住宅の設備は、全国的に老朽化してきており、居住者の高齢化も進んでいます。このため、高齢者向け優良賃貸住宅の家賃減額の継続や修繕など、居住者の負担軽減に向けた対策などが求められてきました。

平成31年度政府予算案には、20年間の家賃減額期間の終了時に、現に居住する高齢者については、退去するまで家賃減額を延長することやバリアフリー改修に係る補助率の引上げなどが計上されており、さらに、平成31年度からは「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」による取組が始まります。

よって、墨田区議会は、政府に対し、UR賃貸住宅団地が地域資源として多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まいとまちとなるために、下記事項について取り組むよう強く要望します。

### 記

- 1 2033年度までに250団地程度の地域医療福祉拠点の整備を着実に進めること。
- 2 団地機能の多様化に伴い、高齢者や子育て支援施設の整備を進めること。
- 3 健康寿命サポート住宅の供給を拡充すること。
- 4 UR賃貸住宅ストックの活用にあたっては、地方公共団体や地域関係者との連携を図るとともに、住民の意見を丁寧に聞き取り、居住の安定確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成31年3月 日

墨田区議会議長名

内閣総理大臣 }  
国土交通大臣 } あて